

大学日本代表VSNPB選抜 壮行試合

7月のユニバーシアード競技大会(韓国・光州)に出場する野球の大学日本代表が29日、神宮球場でプロの若手選手によるNPB選抜を相手に

壮行試合を行い、2-3で敗れた。大学日本代表は2番手の田中正義投手(創価大)が4死無安打無失点、7連続を含む8奪三振と好投し、6回

の吉田正尚外野手(青学大)のソロ本塁打などで反撃したが及ばなかった。NPB選抜は1回に山川穂高内野手(西武)の2ランで先制。安楽智大(楽天)ら9投手が1回ずつ投げた。

田中 創価大3年

7連続奪三振

4死完全8K!プロを手玉

創価大3年



竜スカウト部長 来秋ドラフト競合断言

の輝きを放った。

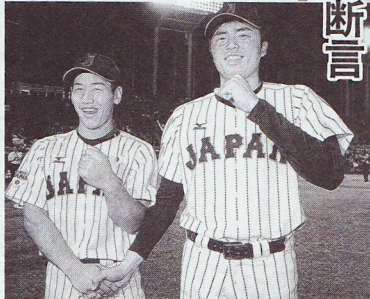
150キロ超え連発

田中正義(たなか・せいぎ) 1994(平成6)年7月19日、横浜市鶴見区生まれの20歳。186センチ、89キロ。右投げ右打ち。上末吉小1年で野球を始めて投手。末吉中時代は川崎中央シニアでプレー。創価大では1年夏からベンチ入り、秋から外野手に転向。創価大では投手に復帰。最速155キロ。持ち玉はフォーク、カーブ、スライダー。

と感嘆させ、左飛に打ち取った。

変化球も冴えた!

そこからは奪三振ショーの始まりだ。次の武田すぐ一本に絞らせない投球ができた。追い込んで



ユニバーシアードに向け、健闘を誓う大学日本代表の吉田正尚と田中

から甘くならないように思って投げた結果が良かった」と会心の投球を

大学日本代表-NPB選抜 3回から大学日本代表2番手で登板し、力投する田中-神宮球場で(福永忠敬撮影)

巨人・山下哲治スカウト部長「ストレーターのキレもいい。きょうの出来なら即戦力の評価ができる。来年の目玉でしょう」

本塁打&好守備 青学大・吉田正

中日もドラフト上位候補にリストアップしている青学大の吉田正が6回2死、高橋光(西武)の低めの直球をたら

振り返った。

ネット裏に集まった各球団のスカウト陣の目もギラついた。中日の中田

スカウト部長は「なににより良いのが、フィニッシュですべての力が伝わるよな投げ方。こういう

えて右中間へソロ本塁打。「ピッチャーが次々と代わるので相手よりも自分の方を分析し、自分のスイングをしようと思いい、それができました。1回には二塁走者の本塁生還を阻止、8回には左翼線の当たりを好捕し守備でもアピール。視察した侍日本代表の小久保監督も「好返球から始まって、ホームランにファイナルプレー」と母校の後輩をほめた。

29日・神宮・開始18時32分・観衆20,649

Scoreboard table for the game between NPB and University of Japan. It includes columns for runs, hits, errors, and batting averages for both teams.

NPB勝利

Scoreboard table for the game between NPB and University of Japan, showing the final score and individual player statistics.